

言心先生の中国便り

二十六年ぶりに
帰ってきた息子

1992年の6月、中国重慶市在住の朱曉娟さんは、四川省南充市在住の何小平氏を息子の保母として雇った。

僅か七日間後、何氏は朱さんの1才3か月の息子、劉金心を誘拐して田舎に帰ってしまった。彼女の動機は余りにも単純で、自分が産んだ二人の息子が亡くなったから、どうしても子供が欲しいということであった。何氏がその目的で自分の住所を偽造して朱さんの保母となった。

当然、被害者の朱さんは自分の最愛の息子を連れ戻すために中国全土を探し回った。4年後の1996年に、朱さんが提供したDNAと河南省のある男の

子のDNAの間に親子関係があると確認された。河南省高級人民裁判所が提出したDNA認定書を信じて朱さんはこの子を連れ戻して、事態は一件落着いたと思われた。

しかし、今年の1月になり突然、保母の何氏が朱さんの息子を誘拐したという理由で警察署に自首した。

彼女と一緒に来たのは当時誘拐された男児、つまり現在 27歳の劉金心である。警察の通報で経緯を知った朱さんは、余りに驚いて言葉を失った。

警察は朱さん、今回連れて来られた青年、そして1996年に連れ戻された河南省の青年のDNAを調べた。結果、何氏が連れてきた人は朱さんの息子で、河南省から連れ戻した子は全く関係がない別人であると判明した。

しかし、最愛の息子の帰りを朱さんは喜ばなかった。

青年となった息子は重度のアルコール依存症で、正常な生活ができない状態であった。原因は誘拐犯の何氏の育て方が悪かったということである。成人の劉金心は自立できず、何氏は重い荷物を返しに来たのであった。

経済格差、道徳の低下などの原因で、今の中国では児童誘拐事件が多発している。誘拐事件の被害者の朱さんの悲惨な物語は、数えきれない事件の一つに過ぎないと思う。



陶陶酒本舗の
栄養補助食品

通信販売

携帯電話、PHSからもOK!



0120-039-064

<電話料無料>お問い合わせ/午前9時~午後5時 月~金(祝・祭日等除く)・お申し込み/午前9時~午後9時 年中無休

オンラインショップ

